

予算要望

暑すぎる教室は個別に相談を 特別教室へのエアコンは検討中

越教組ニュース

越谷市教職員組合



十一月二六日(火)、越教組は市教委に来年度の教育予算に対する要望を行いました。今年度は、様々な支援員の拡充、給食費の無償化、暑過ぎる教室問題、職員トイレへのウォッシュレットの増設などを重点に要望しました。

様々な支援員の増員を

(組合) 市費の支援員などのスタッフの拡充をお願いします。

(市教委) 年々増員し、今年度は補正予算を含め88名を配置している。

(組合) 今年度の要望は269名ある。要望に対する配置割合はここ数年落ちてきている。

(市教委) 予算が絡むので要望が2倍になったから配置を2倍にするとはならない。

い。できる限り毎年拡充できるように努力していきたい。

(組合) 日本語を母語としない児童生徒への支援の充実を。自動翻訳機の導入も検討してほしい。

(市教委) 日本語の理解が困難な児童生徒への対応としては、各教員に1台ずつ支給されているタブレットにより、グーグル翻訳等の翻訳ソフト等を利用することを目指す。

暑すぎる教室に対応を

(組合) エアコンの効が悪く、30度以上になる教室がある。私の職場では、8割以上の先生が断熱など適切な対策を要望している。

(市教委) 効が悪い教室があることは承知している。フィルターの掃除は年一回定期的に行っている。また、コロナで外気を入れながら運転したことにより、熱交換器に汚れが生じ

たが、こちらは補正予算を取って、効が悪いという学校に対応している。連絡していただければ個別に対応する。

(組合) 特別教室へのエアコン設置を進めてほしい。(市教委) 学校からも設置の要望が寄せられていることから、設置に向け検討を行っている。

ことができる。実際に、活用している学校もある。自動翻訳機の導入については学校現場で実際に指導している教員の意見を聞くなど、調査研究をしていく。

(組合) 全校に週2日勤務の学校司書の配置の計画を出してほしい。

(市教委) 学校司書は、昨年度より1名増の21名を配置。同一校週2回勤務該当校は、小学校全校、中学校11校。今後も学校司書の拡充に努めていく。

臭いがなく清潔なトイレに

(市教委) 令和6年度は、専門業者による清掃について、校内の全ての小便器に対し尿石除去等を実施し、床清掃も面積を増やすなど、清掃内容の拡充をした。

(組合) 職員用トイレにウォッシュレットを付けてほしいという要望が多い。



い。

(市教委) 今洋式化されているトイレには、なるべくウォッシュレットがつけられるように、予算要望を出している。

法に基づいた労働安全の整備を

(組合) ①女子職員が30名以上、全職員が50名以上の職場に休養室の設置が義務付けられているが状況は？

②産業医の活動、今年度はきちんと仕事をしてもらっているか？ ③教職員向けのメンタルヘルスカウンセラーの配置を。

(市教委) ①つかんでいな

いので状況を調べる。②養護教諭から、お医者さんと連携を取りながら、昨年度よりも良くなっているという報告は受けている。校長からも意識して進めていると報告を受けている。③様々な施策を進めている途中。まずは今ある制度を十分に活用してほしい。

(組合) 川口市のメンタルヘルスカウンセラーは年間五〇〇回の相談申し込みがある。委員会や管理職を通さない敷居の低さがいいという。

給食費の無償化、補助を

(市教委) 令和四、五年度は、材料費の高騰分を市が負担し、実質的な保護者の負担軽減を図ってきた。本市では、現在の児童生徒数ベースで約12億円の歳入を見込む学校給食費を無償化することや多子家庭への補助を実施することについては、財政上大変大きな影響を与えるものとなること

ことから、本市独自の無償化等の実施は困難と考えている。なお、経済的理由のため就学が困難とみられる児童生徒の保護者には、就学援助制度により給食費の全額を援助している。

(組合) 学校が給食費を徴収しないことで、就学援助の案内を以前ほどできていないと感じる。市

に丁寧な案内をお願いしたい。

(市教委) 丁寧に行っていた。また、給食費について、国に動きがあれば市としても機敏に対応していきたい。



学校プールの行方は

(組合) 今年度大袋小はモデル事業ということ民間プールを活用したが、そもそも越谷市には多くの民間プールがない。将来的にどのようなプールのあり方を考えているのか。

(市教委) 越谷市の場合、民間だけとか自校だ

けというわけにはいかない。近隣の学校での共同利用や公営プールの活用など、様々な方法の組み合わせになる。来年度には、その方向性を示したい。一方、活用できる間は既存のプールの活用を進めたい。